

RIMTEC

会社紹介

【事業内容】

RIM（Reaction Injection Molding：反応射出成形）配合液および成形品の販売

2003 年設立。原料のジシクロペンタジエンから配合液まで一貫した生産体制を持っており、独自の配合・成形・設計技術の融合により、住宅資材や自動車バンパーなど多様な成型品を生産・販売しています。

東京に本社を置き、日本ゼオン水島工場内に研究所、フランスに研究開発機能を有する子会社 Telene S.A.S.（フランス）があります。また、アメリカの Zeon Chemicals L.P.に販売拠点を置いています。なお、成型品製造を担ってきたゼオンリムは 2020 年 4 月 1 日付で RIMTEC が吸収合併しました。

【人員数】

2020 年 3 月末人員数：30 名（男性 25 名、女性 5 名）

2019 年度採用実績：2 名（男性）



水島工場

成形品の例



ユニットバス



トラックのバンパー



浄化槽

会社方針（トップメッセージ）

オレフィン系熱硬化性樹脂であるジシクロペンタジエンを用いた RIM 成形は、省資源、省エネルギーでかつ原料調達から樹脂材料調製・成形、廃棄に至るまでの過程で排出される CO₂ が他の主な樹脂に比べて少ないという特長があり、当社は地球環境に優しい樹脂配合液をグローバルに提供しています。成形品は軽量性、耐衝撃性に優れていることからその用途は多岐にわたり、建機・農機・トラックバスのボディパネルから浄化槽筐体や大型バルブおよび住宅資材など、大型・複雑形状の製品に採用されてきました。

また、低粘性を活かした非常に小さな隙間への充填や低誘電特性が求められる電気・電子部品、高周波関連部品へも展開しており、さらにフィラーや繊維および金属との接着方法の開発により、さまざまな用途展開が期待できる状況にあります。

RIMTEC は、この「環境に優しく、成形性に優れた RIM 配合液」の事業拡大を通じ、グローバルな環境の改善と新製品の開発に貢献するとともに、生産委託先や顧客の雇用創出と地域社会の活性化に貢献します。



代表取締役 中山 高志

安全への取り組み

【方針】

安全第一！RIMTEC は、一人ひとりが責任をもって行動し、生産委託先や顧客と深く連携することで、無事故・無災害を実現します。

【具体的な取り組み】

1. 生産委託先との生産品質会議

・生産状況・品質管理状況の報告、化学物質の法規制や事故事例の教育などを実施しています。

2. 生産委託先との相互診断（1回/年）

・RIMTEC 水島事業所、生産委託先と合同で、RC 活動、5S、安全の相互診断活動をしています。

3. 顧客への安全教育（1回/年）

- ・全顧客への安全教育資料の配布
- ・最新法令内容の説明
- ・新規顧客への訪問指導

4. 風土づくりの推進

- ・2015 年度から生産委託先との安全相互 5S 活動を行っています。
- ・2017 年度からゼオン生産革新センター-NPS 推進グループの協力のもと、生産委託先との生産性改善活動を毎月行っています。

環境負荷削減の取り組み

【方針】

- ・廃プラスチックのサーマルリサイクルを推進するとともにケミカルリサイクルやマテリアルリサイクルの調査研究を開始します。
- ・各国法規制に基づく、製品中の環境負荷物質削減に取り組みます。

【具体的な取り組み】

1. 産業廃棄物の排出量削減

廃プラスチック金属インサート品の分別回収ルート確立と金属部リサイクル、廃プラスチック部サーマルリサイクル処理により、2015 年度以降から進めている廃棄物埋立処分量をさらに削減しています。

2. 各国法規制への対応

各国の法規制を海外子会社と確認し、環境負荷低減につながる商品開発と販売拡大を目指しています。



3 極技術会議での製品レビュー

3. 環境関連データ（「0」は 0.5 未満、「0.0」は 0.05 未満を示す）

RIMTEC		2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	0	0	0	0	1
	使用量（トン）	0	0	0	0	3
	排出量（トン）	0	0	0	0	0
産業廃棄物	減容前発生量（トン）	39	7	54	61	74
	埋立処分量（トン）	0.3	0.0	1.2	2.0	0.9
水資源（工業用水+地下水+上水道）使用量（千 m ³ ）		1.4	1.9	1.4	1.4	2.4
CO ₂ 排出量（トン）		152	136	149	197	219
エネルギー使用量（原油換算、kL）		78	68	77	109	96

社員とともに

【方針】

社員一人ひとりが、「働く誇り」を感じ、性別・年齢・国籍などの属性によることなく、多様な価値観を理解し、許容しあえる会社を目指しています。また、グローバルに通用する人材の育成に重点を置いています。

【具体的な取り組み】

1. グローバルに通用する人材の育成

- ・国外法規制講習会へ積極的に参加し、法的に問題ないように対応しています。
- ・チャットや ZOOM を活用して自社操業員の海外技術指導を行っていますが、限界があるので 2022 年 3 月末完成を目指して技術支援に動画を作成しています。

2. 価値観の共有

- ・“Mission Statement of global RIMTEC group”を制定しグローバルでの価値観の共有をしています。
- ・「たいまつ活動」を通じて RIMTEC グループ内対話を深め、グループ会社間の協力関係を強固なものにしています。
- ・RIMTEC グループの全社員で 2030 年のありたい姿の実現に意欲的に挑戦しています。



3 極合同の「たいまつ活動」

地域との共生

地域社会と共に成長し、地域の活性化に貢献し、RIMTEC の持続的発展につなげていきます。

【具体的な取り組み】

1. 地域消防団との消火活動とお花見

COVID-19 の影響で定期的に行っていた消火訓練後、協力会社様、消防団並びに本荘地区にお住まいの地域の皆様とお花見は中止をしています。

今後、他の方法での親睦会の開催などを通じてより地域の皆さんとの交流を進めていきたいと考えています。



2019 年春の消火訓練（上）お花見（下）

2. 岡山リサーチパーク一般公開事業「おもしろ体験でえ〜」への参加

岡山県が主催する「おもしろ体験でえ〜」に 2012 年から毎年出展していましたが、COVID-19 の影響で開催そのものが中止になっています。

この催しは、子どもたちが科学技術の楽しさを体験できるイベントであります。弊社が行っている反応を基とした原料が樹脂になる過程を視覚的に体験することができますので、今後開催されることになれば積極的に参加していきます。



2019 年夏の「おもしろ体験でえ〜」

3. 産学連携による研究開発

RIMTEC 水島事業所は、基盤技術の確立のため岡山大学、九州工業大学と共同で研究開発を進めています。また、応用製品の適用に向けて鉄道総合技術研究所とも共同で開発を進めています。

4. 中国地方での産業創出

新規触媒開発を進めるため岡山大学産学官融合センターの研究室を借用して 5L ガラス製反応器を使用して各種の触媒の開発を進めています。

また、岡山リサーチパークインキュベーションセンター（ORIC）に試作開発室(100m³)と実験室(50m³)を活用して新規の電気絶縁材料等の試作開発を進めています。右の写真は 200L の調整槽で 2021 年 10 月から稼働しています。



100m³の試作開発室の様子

5. 学会等での発表

九州工業大学と共同で「炭化水素系熱硬化性樹脂とフラーレン C60 との複合成形樹脂」に関する研究成果を電気学会に投稿しました。また、同大学と 2021 年 3 月に開催された電気学会全国大会において「炭化水素系熱硬化樹脂の絶縁破壊強度」について発表を行いました。

2020 年 12 月には第 99 回低温学会・超電導学会で発表を行いました。